

UNICORN - Preamp -
取扱説明書



- 各部の名称と機能 -



- LEAD CH -

- ①PRE
歪み量の調整をします。
- ②TREBLE
高域の調整をします。
- ③MID
中域の調整をします。
- ④BASS
低域の調整をします。
- ⑤POST
基本的に音量を調整します。後述のMASTER LEVELとを組み合わせ、更なる歪み量を調整できます。
- ⑥MODE SW
トーンキャラクターが変わり、より圧縮感のある音色へ切り替えます。
- ⑦TEXTURE SW
歪みの質感を切り替えます。

- RHYTHM CH -

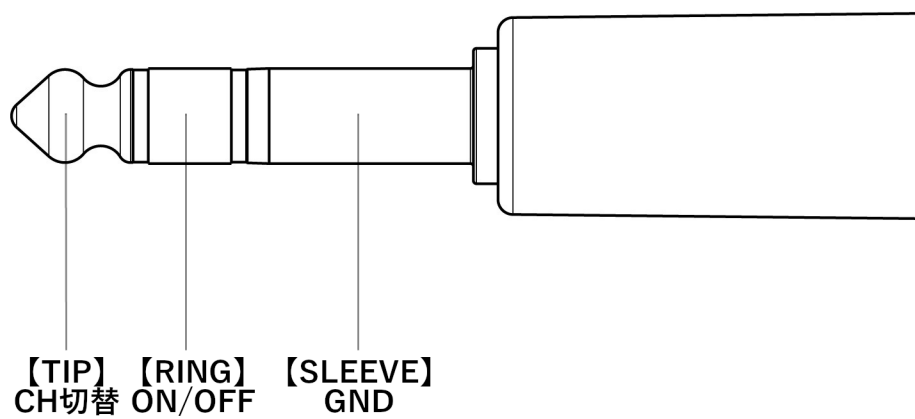
- ⑧BRIGHT SW
【NORMAL】
BRIGHTがオフの状態です。
【BRIGHT 1】
POSTの設定に関わらず、BRIGHTが効いた状態になります。
【BRIGHT 2】
POSTに追従してBRIGHTの掛かり具合が変わります。
- ⑨TREBLE
高域を調整します。
- ⑩MID
中域を調整します。
- ⑪BASS
低域を調整します。
- ⑫POST
基本的に音量を調整します。後述のMASTER LEVELとを組み合わせ、更なる歪み量を調整できます。

- MASTER - (LEAD/RHYTHM CH共通)

- ⑬PRESENCE
センター位置を中心にブースト/カットをします。全体の高域を調整します。
- ⑭RESONANCE
センター位置を中心にブースト/カットをします。全体の低域を調整します。
- ⑮LEVEL
全体の音量を調節します。
- ⑯フットSW (左側)
LEAD/RHYTHM CHの切り替えをします。
- ⑰フットSW (右側)
エフェクトのON/OFFを切り替えます。リレーを使用したトゥルーバイパス仕様です。

- REMOTEについて -

- ・ラッチタイプ(ステレオフォンプラグ)のフットSWをご利用ください。
- ・REMOTEをご利用中は、UNICORN本体側のフットSWはご使用できなくなります。



- セッティングのコツ -

・プリアンプとして使用する場合(アンプのリターンに接続)
PRESENCEとRESONANCEをセンターに合わせた状態から音作り
を始めてください。

・エフェクターとして使用する場合(アンプのインプットに接続)
PRESENCEを7~9時方向、RESONANCEをセンターに合わせた
状態から音作りを始めてください。

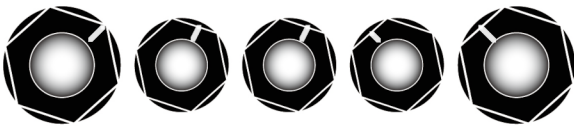
・LEAD/RHYTHM CHの基本的な音作りが決まったら、お好みに
合わせてPRESENCEとRESONANCEで微調整をしてください。

- プリアンプ セッティング例 -

ハムバッカーPUを搭載ギターを使用した場合

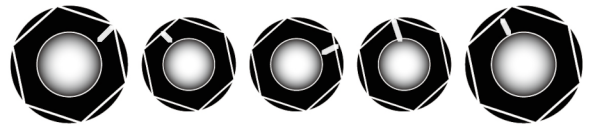
【LEAD CH】
リード①

【MODE OFF/TEXTURE OFF】



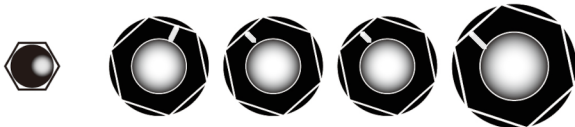
【LEAD CH】
リード②

【MODE ON/TEXTURE OFF/PRESENCE 3:00】



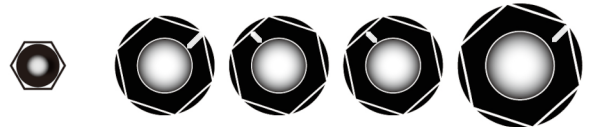
【RYTHEM CH】
クリーン

【BRIGHT ②】



【RYTHEM CH】
クランチ

【BRIGHT ①】



* POSTはギターの出力に合わせて微調整をしてください